

2021 年度コンテンポラリーダンス・プラットフォームを活用した振付家育成事業

『ダンスでいこう！！』<企画募集>

一緒に振付家育成プロジェクトを行いませんか？

2021 年度の文化庁「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」申請に向けて、振付家育成プロジェクト「ダンスでいこう！！」の共催者を、JCDN アクティブ会員を対象に、募集します。

可能な限りすべての応募企画を行えるようにと考えていますが、予算的には 10 企画程度になる予定です。連動できるものがあれば 1 つの企画として協働して行うなど、事務局がハブとなって調整します。「地域プラットフォーム」「クリエイティブパートナー」「創造環境パートナー」の 3 つに区分し、2020 年度よりキックオフミーティングや報告会などに加えて、若手振付家に向けて公演プラットフォームも開始します。

振付家を育てることを第一次的な目的としますが、振付家が育つための「環境」を創ることに力を入れたいと考えています。例えば、ダンスの制作者を育成する企画、他地域でダンス作品が上演できる企画なども、より幅広い視点での振付家の育成につながると思うからです。

同時に、先日お送りさせていただいた 2019 年度報告書「フリツケカをイクセイする？」にありますように、この日本で、今の時代に、振付家とは？振付家を育成するとは？を考えた時に、様々な方法論や思想があります。この多様な方法論、思想を、現代の社会に対して、しっかりと顕在化させていくことも、コンテンポラリーダンスのひとつの意義なのではと考えています。

コロナの影響で、今年度（2020 年度）の事業は全体的に開始が遅れていますが、いくつかの事業はすでに始まり、実施しているところ、参加者の公募をしているところなど様々な状況です。ウェブサイト、<http://dance-it-is.com> をご参照ください。現在仮サイトですが、10 月 1 日に本サイトオープン予定です。

皆様のご応募をお待ちしています。

2020 年 9 月 15 日

NPO 法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク

■2021 年度コンテンポラリーダンス・プラットフォームを活用した振付家育成事業 『ダンスでいこう！！』募集要項

「令和3年度 文化庁 次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」に申請する事業(※)の企画案を募集します。集まった企画は、企画アドバイザーと事務局で申請のための調整を行い、最終的に事業総額 3000 万円－4000 万円の規模で JCDN から申請を行う予定です。(昨年度は、1970 万円での採択でした)

以下の内容にご賛同いただける方と共にダンスの未来を切り開いていきたいと思っております。

(※昨年度は、10 月に令和2年度の募集要項が発表されました。)

<目的>

- ・ 全国各地でコンテンポラリーダンスの人材育成事業が大小問わず行われるようになることで、次代を担い、世界に通用する創造性豊かな新進芸術家の育成を行う。
- ・ 振付家をはじめとするコンテンポラリーダンスのアーティストが、国内の舞台芸術フェスティバルなどに参加するためのステップとなる。
- ・ コンテンポラリーダンスのアーティストの創造環境を支援するとともに、ダンスの持つ力を全国的に周知する。

<応募条件>

- ・ JCDN アクティブ会員 (※新規で会員になる方も含む) であること。
- ・ 文化庁「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」の目的に対応する事業であること (別紙1 / 令和2年度の要項を参照)
- ・ 自ら企画した事業を運営 (主催) し、事業に関わる基本的な会計・制作業務が可能な個人 / 団体であること。法人格は問わない。企画した事業の再委託は不可。
- ・ 2021 年7月－2022 年2月の期間に行う事業であること。
- ・ 2021 年5月末－6月に行うキックオフミーティング、2022 年3月のクロージングミーティングに出席すること。(時期は予定。採択後に各団体と調整し確定します。)

※JCDN アクティブ会員について：JCDN サイト <http://jcdn-web.org/recruitment/> をご覧ください。

<募集企画の枠組み (規模) >

以下いずれかの枠組みから一つを選択し、応募方法の流れに沿って必要な資料をお送り下さい。

- A) 予算上限 50 万
- B) 予算上限 150 万
- C) 予算上限 300 万

※ 予算には、謝金・旅費・借損料・消耗品費・雑役務費・保険料を含む (文化庁人材育成の要項に準ずる)。

※ 企画実施にかかる企画制作費は雑役務費にて全体予算の 20%以内を計上してください。

(JCDN で全体の謝金規定を作ります)

<文化庁への申請までの流れ> 必ずお目通しください。

- ・ 『ダンスでいこう!!』への応募を検討される方は、まずエントリーをお願いします。事務局にてどのような企画が検討されているかを予め把握し、文化庁への申請にあたり準備を行うためです。エントリー内容は、ある程度大まかな内容でかまいません。
- ・ エントリー締切日以降に、上記目的・条件に沿った企画を主体に、実現可能性、全体のバランスなども考慮して申請する内容を調整します。調整は、企画アドバイザーに意見をいただきながら、JCDN 事務局にて行います。特に、企画内容が重複する、応募が多すぎるなどの場合は、個別にご連絡し調整します。
- ・ 事務局にて申請する企画をすみやかに調整後、その結果をご連絡します。その後、各企画者には事業計画書と予算書を作成し、JCDN に提出していただきます。事業計画書は、エントリーフォーム内容をブラッシュアップした内容になります。後日お送りします。
- ・ めどとして、募集企画の枠組み A-C それぞれから 1-2 企画、計 8-10 企画程度にまとめて JCDN から文化庁への申請を行う予定です。

<文化庁に採択された場合の流れ（想定）>

- ・ 各企画の担当者にご連絡をします。その時点で計画内容に変更が生じていれば調整し、予算の範囲内で企画提案内容を確定。
- ・ 各企画担当からの内容を JCDN でとりまとめて、企画提案書を文化庁へ提出。
- ・ 文化庁との契約日以降に事業を開始、2022 年 2 月末までに終了し、事業終了後一か月以内を目処に報告と精算に必要な書類を提出していただきます。
- ・ 各事業予算は JCDN から各団体へ再委託します。
- ・ プロジェクト全体のキックオフミーティング（2021 年 5 月末-6 月を予定）、クロージングミーティング（2022 年 3 月を予定）に、各団体から代表の方 1 名に参加していただき、事業内容説明と報告のほか、ミーティング、交流の場とします。（そのための交通費は、当プロジェクトの予算として申請します）

<注意事項>

- ・ 採択後の流れは、すべて採択された場合の仮定です。また、採択されなかった場合は、事業は行なえませんが、申し訳ないのですがご了解ください。
- ・ 採択額は申請額より減額される場合がほとんどです。そのため、採択額に応じて、企画の規模、各企画団体に分配する予算が変わる可能性があります。

<企画アドバイザー> ※現時点の候補です。変更になる場合があります。

新井英夫、小川智紀、坂本公成、宮久保真紀、若林朋子、佐東範一（以上、JCDN 理事）

上記のメンバーと松岡真弥・神前沙織（事務局）が、企画内容の調整、必要に応じてアドバイスをしています。

<『ダンスでいこう!!』への応募に関して>

締切:

- ・ エントリー締切: 2020年10月11日(日) ※応募を検討される方は、まずエントリーください。
- ・ 事業計画書(企画書・予算書)等締切: 2020年10月25日(火) まで

応募方法:

1. 事務局までメールで、エントリーの有無をお知らせください。可能な範囲で、その時点で考えている企画内容・事業規模を簡単にお知らせください。
2. エントリーフォームを、10月11日(日)までに、応募先までメールでお送りください。事務局でいったん調整し、すみやかにご連絡します。調整が生じる部分については事務局からご相談の連絡を致します。応募多数の場合、また当該事業の目的に沿わない、実現の可能性に不安があると事務局が判断した場合は、申し訳ありませんが文化庁への申請を見送らせていただく場合があることを、あらかじめご了承ください。
3. 2の調整後、文化庁への申請を行っていただく各企画者に、事業企画書・事業予算書を、メールにてお送りいただきます。事業企画書は、エントリーフォームをブラッシュアップしたものになります。様式は個別にお送りします。事業予算書は、次よりダウンロードください。 [ダウンロード](#)

応募先: NPO 法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク 企画公募事務局

メール danceitis@jcdn.org

※件名に「企画公募」と必ず入れて送信ください。

※受信したら必ずお返事します。2-3日たっても返信がない場合はお手数ですが再送ください。

※手書きの申請書は受付いたしかねますので、ご了承ください。

<その他、補足・連絡事項>

事務局事業として、他に以下の内容を文化庁に申請します。

- ・ 事業の開始前後に、キックオフミーティング、クロージングミーティングを設け、全国各地の企画者が一同に会する事業説明・交流会を開催します。
- ・ 上記のほかに、各プラットフォーム運営団体間の視察、オブザーブ委員の設置等を検討中です。
- ・ もし、皆さまからご意見やご希望などあれば、エントリーの有無にかかわらず、JCDN までお寄せください。よろしくお願いいたします。

(別紙1) 令和2年度文化庁次代の文化を創造する新進芸術家育成事業 募集要項 抜粋

令和2年度文化庁次代の文化を創造する新進芸術家育成事業 募集要項より抜粋

1. 企画の提案について

(1) 目的

本事業は、新進芸術家等が技術を磨いていくために必要な舞台公演・展覧会などの実践の機会や、広い視野、見聞、知識を身につける場を提供するとともにその基盤整備を図り、次代を担い、世界に通用する創造性豊かな新進芸術家の育成等に資する。

(2) 募集概要

③ 募集する事業企画

本事業では、我が国の芸術界の将来を担う創造性豊かな新進芸術家等の育成及び基盤整備を目的とする企画を募集します。

【企画提案例】

- ・ 国内外の優れた指導者による新進芸術家を育成する研修
 - ・ 国等の人材育成施策(新進芸術家海外研修制度等)で研さんを積んだ人材が、その成果を発表する公演・展示等
 - ・ 海外で活躍する気鋭の日本人芸術家と国内の若手芸術家が共同して行う公演、展示等
 - ・ 分野の枠を越えた新進芸術家の研修
 - ・ 我が国の芸術文化活動を支える人材育成を目的とする事業(ただし、芸術系大学等が行うアートマネジメント人材や芸術分野におけるファシリテーターの人材育成事業は対象外。)
 - ・ 研修事業と公演・展示事業を一体的に実施する事業
 - ・ 全国から優秀な者を選抜して行う育成公演
 - ・ 複数の文化芸術の融合や新しい分野の文化芸術の創造に資する公演
 - ・ 各芸術分野の基礎情報となる年鑑作成や調査研究等
- ※ 芸術家や芸術団体等を海外に派遣又は海外で実施するプログラムは企画提案の対象となりません。
- ※ 各芸術分野の普及啓発や、伝統芸能等の技術の保存を主たる目的とした事業は企画提案の対象となりません。

本要項は、以下の文化庁HPよりダウンロード可能です。全文を参照されたい方、対象経費項目を確認される場合はダウンロードしてください。

https://www.bunka.go.jp/shinsei_boshu/kobo/1422325.html

(エントリーフォーム)

企画応募をされる方は、以下を記入していただき、2020年10月11日(日)中までに応募先までメールで送信ください。なお、同一の団体・個人が2つ以上の企画に応募される場合は、1企画につきA4用紙1-2枚に収まるよう記入してください。

なお、質問や問い合わせがありましたら、同じく応募先(JCDN)までお尋ね下さい。なお、事務所の電話は繋がりにくい場合がありますので、その際はメールでご連絡先とともにお尋ね下さい。折り返します。

■応募団体名・代表者名・所在地 ※法人格の有無を問いませんが、企画運営が可能であること。

団体名・代表者名

所在地

■企画担当者名

■担当者連絡先

メール

電話(つながりやすい番号)

住所

■企画規模 次のいずれか一つに○ A:50万/B:150万/C:300万

■企画内容

1. 企画タイトル

2. 実施期間

2021年 月 日() ~ 年 月 日()

※実施期間は、2021年7月~2022年2月末まで。予定でよい。

3. 企画の目的

4. 応募企画を行う必要性や、なぜこの企画を行おうと思ったか。

※箇条書きで簡潔に記入ください

5. どのような育成対象者を想定しているか、どのように育成対象者を集めるか、決定するか

※文化庁の規定により育成対象者が実施団体内に限定されないよう公平性に配慮してください

6. 企画の具体的な内容、育成対象者の育成方法等

※企画する事業の具体的な内容と、5に挙げた育成対象者を育成する具体的な方法について

■団体の活動目的やこれまでの実績がわかるプロフィール。個人で応募の方は個人の活動プロフィール。

(200－400字程度)

■以下は任意でお書きください。

・JCDN および企画アドバイザーに相談したいこと（あれば）